

外壁仕上塗材の調査について

石綿含有仕上塗材自体は、通常の塗膜の状態では飛散の可能性は低いですが、除去等の工法によっては飛散の可能性が指摘されているため、平成29年5月に環境省・厚労省から除去時の取扱いに関して、レベル1とすることが通知された。

- 建築物の解体等の工事におけるアスベスト飛散防止は、工事前の調査(事前調査)が基本であるが、随時、維持修繕工事が発生する市営住宅・学校等の市有建築物については、平成29年度からアスベストの有無の調査を委託により実施

■ 3年間の調査概要

	調査施設数	決算(千円)	備考
平成29年度	143	20,084	調査検体数 731件 アスベスト含有検体数 228件(31.2%)
平成30年度	185	23,656	調査検体数 885件 アスベスト含有検体数 411件(46.4%)
令和元年度	174	24,791	調査検体数929件 アスベスト含有検体数 610件(65.7%)

■ 今後の取組み

- この調査結果に基づき、施設管理者がアスベスト含有の有無を把握し、維持修繕を含む工事施工時の飛散防止を徹底する
- その他の施設管理者は、「点検マニュアル」による適正管理を行い、外壁修繕関連工事の際に、事前調査を行った上で適正に対応する